

# アタマジラミ

岐阜県健康福祉環境部生活衛生課の資料より引用

幼児や小学校低学年児童の間で、アタマジラミが集団発生する事例が、以前より報告されています。正しい知識を持って適切な処置をしましょう。

## 1. アタマジラミとは

### 成虫

人の頭皮に寄生します。血を吸い、かゆみや皮膚炎などの不快感の原因になります。  
毛から離れたシラミは吸血できないので1~3日で死んでしまいます。成虫の寿命は1ヶ月あまりで、メスはこの間に平均200個くらい卵を産むと言われています。

体長 2.5~3.5mm



### 卵

卵は約1週間で孵化し、幼虫となります。孵化した直後から吸血を開始します。

幼虫は脱皮を繰り返して7~16日程度で成虫になります。

卵はセメント様物質で頭皮などにしっかりついていて、手で払っても簡単にはとれません。孵化した後の抜け殻も洗髪くらいでは落ちません。

体長  
約0.8mm  
色  
乳白色~  
黄白色



## 2. 見つけ方

子どもが無意識に頭、特に後頭部や耳後部を掻いていることがあれば、アタマジラミを疑い、頭髪をかき分けてよく調べてください。

成虫は動き回るため見つけにくいです。アタマジラミの寄生を確認するには、頭髪に産み付けられた卵を見つめます。

## 3. 感染は？

**不潔だから感染するわけでは、ありません。**

アタマジラミは、直接頭髪と頭髪が接触して、こすれあったときにうつります。子どもは、じゃれあって遊ぶことが多いため、感染率が高くなります。

アタマジラミが、プールなど水に浮いてうつることは、ほとんどありません。しかし、バスタオルを他の人と使いまわしたり、くしやブラシの共用によって、感染するケースが考えられます。

学校では、バスタオル等の貸し借りがないように指導します。

## 4. 見つけた場合は？ 学校へご連絡下さい。

☆薬剤による駆除 (薬局・薬店でご相談ください。)

☆くしによる方法

・目の細かい「すきくし」で丹念に髪をすくことによって、卵や成虫を取り除くことができます。

☆その他の対策

・タオルやくし、ブラシの共用を避けてください。

・アタマジラミの成虫は頭部から離れても、1~3日は生きています。再感染を防ぐために寝室居間、脱衣場は毎日掃除機をかけてください。

・アタマジラミが付いているようなシーツやタオル、枕カバー等はできるだけ毎日交換し、55℃以上の湯で処理してください。アイロン掛けするのも効果があります